

学びの広場

学力向上通信 職員室版
 茅田 涼太郎
 令和5年 12月7日
 7号。研究授業 振り返り

議論はどんどん深まり、核心へ。

すべてのグループの研究授業が終わりました。4グループなので教材研究会と研究協議を計8回2学期中に行ったこととなります。ここで一旦、五中の『能力ベース』『学習指導要領』の研究を振り返り、現在地を知り、次に何をすべきなのか、確認してみましょう。

研究の振り返りを右の表にまとめました。トライ&エラーを繰り返して、回を重ねる度に論点を修正してきました。平尾 t の研究協議での小林指導主事の助言を受けてからは、「判断の基準」「授業の焦点」を明確に提示できるようになり、議論もしやすくなったように見えています。

明示的 無自覚→自覚→活用

「子供が」無自覚に見方・考え方を働かせた瞬間	○
→「教師が」捉えてハッキリと示し全体に共有する	△
→生徒が自覚して見方・考え方を働かせる (見え方が変わる)	×
→「子供が」学びのプロセスを獲得する第一歩	

判断の基準

・子どもが教科の「見方・考え方」を働かせて「資質・能力」を育成できる授業になっているか？

授業の焦点

・子どもが教科の「見方・考え方」を働かせるような仕掛けがあるか？
 ・子どもが無自覚に教科の「見方・考え方」を働かせたことを、自覚できるように教師が明示できているか？

教科らしい学びのプロセスを子どもが獲得できる

つきたい資質・能力を伸ばせる

日にち	グループ	参加人数	協議内容・気づき
第1回 9月7日	平尾 t 教材研	12人	①生徒が日常と感じられる「自然さ」「切実さ」「必然性」のある課題になっているか？ ②生徒が既習事項を結び付けられる単元デザインになっているか？ について協議。①の課題についての議論は活発に行われたが、②の単元デザインについての議論は深まらなかった。
第2回 10月11日	中島 t 教材研	9人	単元のデザインは「目指す子どもの姿」を実現するのに適切か？ について協議。「この単元でつきたい資質・能力は何なのか？」「今回の授業が学びのプロセスのどこに当たるのか？」を明確にしないと社会科の議論として深まらないことがわかった。
第3回 10月25日	柳田 t 教材研	10人	①学習指導要領に基づいて作られていると思いますか？○・△・× ②理科らしい学びのプロセスを子どもが獲得できる単元デザインか？ について協議。学習指導要領から離れた議論になっていたため①の設問を追加した。先生たちが考える『能力ベース』が人によって違うので議論がかみ合わないことに気づく。
第4回 10月26日	平尾 t 研究授業	全員	①学習指導要領に基づいて作られていると思いますか？○・△・× ②数学らしい学びのプロセスを子どもが獲得できる単元デザインか？ について協議。①の質問は全員○。②の質問は全員△。 ①は判断しやすく、②はどう判断すればよいかわからない。
第5回 10月26日	掛井 t 教材研	9人	外国語らしい学びのプロセスを子どもが獲得できる単元デザインか？ について協議。英語科の「見方・考え方」「資質・能力」を基にして、判断基準を明確にした。○・△・×の判断ができるようになった。
第6・7回 11月8日	中島 t 掛井 t 研究授業	9人	つきたい資質・能力を伸ばせる授業になっていたか？ について協議。「見方・考え方」「資質・能力」を基にして、判断基準を明確にした。○・△・×の判断ができるようになった。
第8回 11月15日	柳田 t	5人	つきたい資質・能力を伸ばせる授業になっていたか？ について協議。生徒が「無自覚」に働かせた「見方・考え方」を「自覚」させるためにどうすればよいかの議論が深まった。

2学期の研究を、五中のすべての授業に活かすために

□自分の教科の「見方・考え方」「資質・能力」「学びのプロセス」を今一度読み解いて自分なりに解釈をして、授業づくりをしましょう。

□授業の時に、子どもの学習活動で「見方・考え方」を働かせた瞬間を見取り、明示する工夫をしましょう。

10月25日（水）柳田 t 教材研究会 感想

- 柳田先生、単元計画、指導案作成ありがとうございました。子どもたちがこの単元を終えた時に、光の進み方にどのような規則性があるかの説明ができるようになる姿が楽しみです。
- 子どもたちが小学校で学んで知っている知識を把握しておかないと、授業を組み立てるときのスタートが変わってしまうので、小中9年間を通して子どもにどんな力をつけさせるかを意識することが大切だと感じました。（小中連携、もっと活発にできるといいな～）
- 他教科の授業研究をするのはとても難しいと感じた。実際にこの授業を見て、感じた物で考えていきたいと思った。
- 短い時間で、教材の中身を考えていくことは、難しいと感じた。ただ、こういう会は、とても大変だと思う。
- 「能力ベース」これだけでも、考え方や取り組み方が人それぞれ大きく変わることが分かった。学びのプロセスたるものが知れた。（存在含め）
- 単元を通して獲得できる「学びのプロセス」を、この形式の指導案で読み取るのは難しいなと思いました。出して頂いた「重視すべき学習過程のイメージ」と見比べながら指導案を読むしかないのですが。
- 他教科の先生たちの意見が大変貴重だと思いました。自分の教科を今一度見直せる良い機会となりました。ありがとうございました。
- みなさんの話や考えを聞いて楽しかったです。私ももっと勉強します。

10月26日（木）平尾 t 研究協議 感想

- 皆様からの貴重なご意見ありがとうございました。今回の研究授業、研究協議を通して、自分自身がもう一度、「数学的な見方・考え方」は何なのかを考え直す良い機会となりました。また「能力ベース」として、子どもたちの伸ばすべき能力がこれで良いのかと批判的に見ることができました。
- 目の前の生徒に必要な力は何かを考え続け、生徒が困った際に、既習事項を振り返り、今学習しているものをつなげに気づかせることが生徒の成長につながる。
- 生徒たちが班の人たちと協力して問題を解こうと向き合っているのが良かったです。研究協議で、授業のプロセスで「数理的に捉える」「数学的な見方・考え方」などの「数学的」ってのがよくわかりませんでした。
- 話し合いのテーマに頭を悩ませましたが、非常に勉強になる協議でした。「能力ベース」の捉え直しできたのが個人的にとっても良かったです。今日得た視点で、もう一度自分の授業を見つめていきたいと思います。
- 答えが1つの問いを考えるのではなく、生活の中の具体的な場面が数学的な思考と結びついていることに生徒は向き合っている様子で、とてもいい授業だと思いました。一人ひとりの生徒が数学の「思考・判断・表現」の力をつけるために試行錯誤されて授業づくりされているのを見て、私も頑張りたいと思いました。
- 平尾先生、和やかな雰囲気でありありがとうございました。
- グラフの目盛りをあえてなくす事で、生徒がどう思考して答えを導き出すのか、本時のねらいにそった授業展開をされており、とても勉強になりました。発問のしかたや、その発問の考えを加速させる比較を見つける力など自分自身もまねしていくべき所だと思いました。貴重な経験をありがとうございました。

10月27日（金）掛井 t 研究協議

- どの教科もその性質が様々で、それぞれの視点で考えるのが面白かったのですが、英語は特に独特で面白く感じました。それは、技能的な面が非常に大きく、その積み上げをしていかなければ、活動なども限られているように思ったためです。実際の授業を見させていただくのが楽しみです。ありがとうございました。
- 基本的な技能の獲得が不可欠だと感じた。教科書で学習すると学習指導要領の内容を達成することが難しいかもと感じた。
- 「言語習得」という観点で授業を見るならば授業の中で①どどん使うという時間も必要だが、同時

に②正確に使うという側面も大切。（両方同時にできるのが理想ですが…）②のゴールを達成するには Unit6の単元を終えただけでは不十分です今後の授業の積み重ねの中で子どもたち自身が気づき trial&error の中で身につけてくれたらなあ…と思います。（とにかく時間はかかる！！）

11月8日（水）掛井 t・中島 t 研究協議

- 指導案の検討から研究授業・研究協議までの一連の流れで非常に勉強になりました。授業の技術だけでなく、内容の部分まで他教科の先生方の視点で見て頂き、共に考えて頂くのは貴重な経験でした。ありがとうございました。
- 自分の教科への振り返りになるので良い機会でした。
- 自分の授業を振り返る良い機会になりました。指導の順番によって、また工夫によって、能力・資質はもっともっと伸ばせると思いました。他教科の先生からの質問で、改めて自分の教科について考えた。
- 公開授業ありがとうございました。授業の流れのお話を教えて頂き大変よくわかりました。教科は違いますが…見方・考え方を合わせながらお話を伺うことができました。
- 他の先生の意見を聞いて違うやり方もあることに気づかされました。今回は先にメモを取り、メモを基に原稿を書いて発表という形をとりましたが、話すことに主を置くならメモを見ながら free talk の形で発表した方がより実用的なのは、という意見を聞き、なるほどなと思いました。
- 支援の立場から毎学期ごとの個別の支援計画の課題の部分に90%の生徒に「コミュニケーション能力の育成」があてはまり、大変参考になりました。

11月9日（水）柳田 t 研究協議

- 楽しかったです！
- 参加された方が意欲的に考えておられたのが良かったです。
- その単元（課題）への生徒の意欲を高める授業
- 研究授業に向けて、たくさん準備をされてきたんだなと思い、本当にありがとうございました。お疲れさまでした。勉強になりました。また見てみたいです。
- 無自覚を自覚にする（明示的）を知れて良かった。
- お忙しい中ありがとうございました。授業の見直しやアプローチの仕方を再度確認できたので、有意義な時間となりました。

「学習指導要領に基づく授業づくり」とは「〇〇」である

- 生徒が身に付ける事項、内容を定着させるもの。
- 生徒の成長を効率的に促す授業
- 真理の発見
- 基礎、基本、土台。
- 本質を見失わない授業づくり
- 小学校からの既習でつけた力を知ること
- 一人ひとりが成長を感じられる授業づくり
- 対話によって学びを深める、考えを広げる。
- 今、社会に求められる授業づくり
- 基本の「き」
- 基盤に沿った授業
- 生徒が実生活へつなげていくための各教科での学びの土台となるものである。
- 学びに向かう姿勢
- 主眼点をおさえた授業である
- 子どもを伸ばす授業をつくるためのもの。
- まだ迷走中である（私にとってですが）
- How
- 生徒にとっても、教師にとっても、無自覚を自覚に変える授業。
- 奥深い

先生方、お忙しい中
本当にありがとうございました！！